たきかわ環境フォーラム

たきかわ環境フォーラム主催事業のご案内「パネルディスカッション　街のカラスとどう折り合うか」（2004年5月29日午後2時開演）

滝川市内の市民グループ「たきかわ環境フォーラム」（平田剛士代表、事務局＝滝川市森のかがく活動センター内）は2004年5月29日午後2時から、「滝川市森のかがく活動センター」（滝川市空知町2丁目、旧滝川林務署跡）で、「パネルディスカッション　街のカラスとどう折り合うか」を開きます。

毎年4月から6月にかけては、公園や学校の植樹、家庭の庭木、街路樹などにカラスが巣をかける季節です。カラスは収集前の家庭ごみを路上で食い散らかすなど、いたずら者ですが、子育て期の親鳥は特に外敵に攻撃的な態度をとります。自分が営巣している木の下を人が通りかかるだけで、その人めがけて急降下したり、時には足で髪の毛につかみかかったりするのです。

滝川市役所にもカラスに関する苦情は頻繁に寄せられ、危険な場合は巣を撤去したり、駆除したりしています。しかし、カラスが本来の生息地（山地）を離れて都市部で暮らすようになったのは、人間が出す生ごみなどが彼らの絶好の食べ物になったから。嫌われ者のカラスですが、カラスを招き入れているのは人間自身なのかも知れません。

このパネルディスカッションでは、カラスの生態に詳しい鳥類研究者の玉田克巳さん、野生動物保護管理に詳しい武田忠義さん（たきかわ環境フォーラム運営委員）らをパネリストに迎え、カラスの知られざる生態を学び、また住民がカラスとじょうずに折り合うための方法を探ります。

なお、今回のパネルディスカッションは、昨年（2003年）11月9日に開催したパネルディスカッション「落ち葉ってごみでしょうか……？　街路樹問題を考える」の続編です。（2004年5月20日）

「パネルディスカッション　街のカラスとどう折り合うか」

とき	2004年5月29日（土曜日）午後2時から午後4時
ところ	滝川市森のかがく活動センター（滝川市空知町2丁目）
電話・FAX	0125-22-3410
電子メール	forest_00@mist.ocn.ne.jp
URL	http://www15.ocn.ne.jp/~forester/
入場料	無料
お問い合わせ	滝川市森のかがく活動センター（同上）
主催	たきかわ環境フォーラム

第1部　話題提供

■「街に生きるカラスの生態」玉田克巳さん（日本鳥学会員）

■「鳥インフルエンザとカラスたち」武田忠義さん（たきかわ環境フォーラム）

第2部　パネルディスカッション

■「街のカラスとどう折り合うか」

★たきかわ環境フォーラムとは？

2003年8月に設立。約10人の運営委員は全員が滝川市内在住。2004年5月1日に正式オープンした「滝川市森のかがく活動センター」を拠点に、身近な自然情報の集積と発信、自然環境保全・復元のための提案、自然観察会や研究会、さまざまなワークショップ事業などを主催している。

イラストは、現代デザイン研究所編『切り絵歳時記』（ダヴィッド社刊）の収録作品です。